

第1章 平成24年度の主な取組み

平成24年度に行った環境保全施策の中で、地球温暖化・省エネルギー対策やみどりに関する多様な取組み、環境学習の推進、循環型社会の形成に関して、区の環境の現況や課題を踏まえ、特に力を入れたものについて報告します。

1 地球温暖化・省エネルギー対策の推進

地球温暖化は地球規模の問題ですが、一人ひとりが日常生活において環境にやさしい行動を実践していくことが重要です。

平成24年度は、環境について考えたり、行動を起こすきっかけとなるよう、子ども向けの絵本の発行、太陽光発電システムなどの設置費の助成、エコドライブ教習会の開催を行いました。

■ 地球温暖化対策の啓発絵本を発行しました

幼稚園児や小学校低学年向けの啓発本として、小さい子どもたちに読み聞かせができるように、地球温暖化対策をテーマとした絵本「しろくまフロートくんのおねがい」を発行しました。

この絵本は、学校法人日出学園の生徒会からの寄付金を活用し作成したもので、区内の保育園・幼稚園・小学校・児童館などに配布しました。区内図書館や目黒区総合庁舎1階区政情報コーナーで閲覧できます。



<絵本「しろくまフロートくんのおねがい」より>

■ 住宅用新エネルギー¹及び省エネルギー機器設置費を助成しました

本事業は環境負荷の少ないエネルギー利用を促進し、地球温暖化対策の推進を目的として行っています。二酸化炭素の排出量の削減に貢献する新エネルギー機器（太陽光発電システム）や省エネルギー機器（CO₂冷媒ヒートポンプ給湯器、潜熱回収型給湯器）を設置する区民を対象に、設置経費の一部を助成しました。

平成24年度は、前期（6月）・後期（10月）の2回に分けて募集を行い、多くの方から申請がありました。

<平成24年度実績>

助成対象機器	助成額	助成額の上限	申請件数	助成件数
太陽光発電システム	設置経費の 3分の1	12万円	129件 (196件)	79件 (104件)
CO ₂ 冷媒ヒートポンプ給湯器		3.2万円	10件 (14件)	10件 (7件)
潜熱回収型給湯器		2万円	152件 (119件)	54件 (53件)

()：平成23年度実績

*平成23年度は、原発事故の影響で再生可能エネルギーへの期待が高まり、申請が急増しました。そこで予算を増額して対応したため、助成件数が多くなっています。

¹ 新エネルギー：太陽光発電、風力発電等の自然エネルギーや廃棄物による発電等、石油代替エネルギーとなるもの。

2 みどりに関する多様な取り組み

みどりは、ヒートアイランド現象の緩和、都市景観の向上、生物多様性の確保、都市防災への寄与などとともに、人々にうるおいと安らぎをあたえ、安全で安心できる都市生活を支えてくれるなど多様な効用をあわせもっています。

平成24年度は、新たなみどりの拠点を整備し、みどりの取り組みに対して支援を行いました。また、身近な生き物の生息状況を区民とともに調査しました。

■ 新たなみどりの拠点整備を行っています

公園は、地域のみどりの拠点であり、区民の憩い・交流の場であるとともに、良好な景観形成や、震災時の避難場所として機能します。

● 目黒天空庭園等を整備しました

首都高速道路の大橋ジャンクション屋上部に約7,000m²の公園整備が完了し、平成25年3月30日に開園しました。

勾配のあるループ形状の空間を活かした、緑豊かな回遊式の屋上庭園で、区の新たなシンボルとなっています。また、区民等が緑化活動を行うコミュニティーの場も整備しました。さらに、ジャンクションの内側空間には、約3,000m²のオーパス夢ひろばを整備しました。



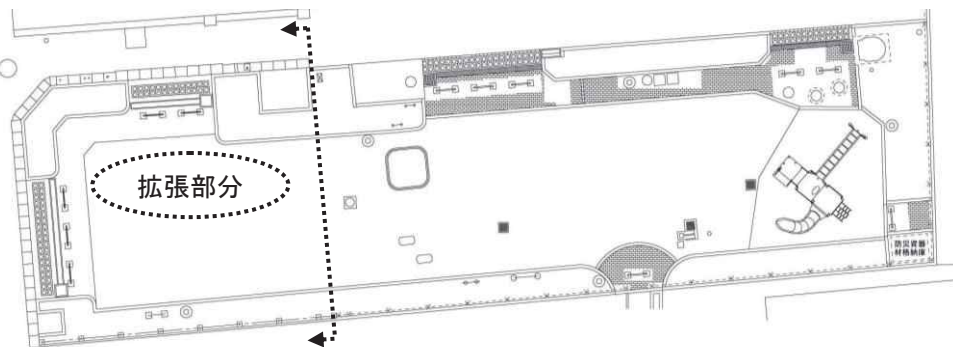
<目黒天空庭園(首都高速道路株式会社写真提供)>



<オーパス夢ひろば>

● 向原町児童遊園を拡張整備しました

地域における防災上の空間を確保していく必要性が高いことを受け、旧目黒本町ふれあい工房跡地を活用して、児童遊園を約220m²拡張整備しました。



<向原町児童遊園平面図>

■ 身近なみどりの取組みへの支援を行いました

公園の清掃・花壇管理等の維持管理活動や、地域住民を対象としたイベントの企画運営を行うボランティア団体を公園活動登録団体として登録し、積極的に支援を行っています。平成24年度には、12の団体が活動を行いました。

また、地域住民が区の管理する公園等に花を植える「グリーンクラブ」の活動に対し、花苗の配布等の支援を行いました。



<グリーンクラブによる花壇の手入れ>

■ 生物多様性に関する取組みを行いました

● みんなで選ぶめぐろのいきもの80選を実施しました

区制施行80周年記念事業の一環として、「ふるさと目黒」の生き物を見つめ直し、潤いのあるみどりの街を子どもたちの未来に伝えていくため、今の目黒区に生息する、あるいは昔の目黒区で見た生き物で、未来に伝えていきたい、もしくは戻ってきてほしい生き物について区民投票を行いました。

結果は「みんなで選んだめぐろのいきもの80種」とし、自然と共生する街づくりの基本計画となる「目黒区生物多様性地域戦略（仮称）」の基礎資料として活用していきます。

(実施期間)

平成24年7月25日～10月31日

(投票者数)

- ・投票者数延べ664人
- ・種類得票数4,433票（計417種）

<得票数上位8種の生き物>

1位	ヤモリ	5位	アマガエル
2位	メダカ	6位	スズメ
3位	ヒキガエル	7位	ツバメ
4位	ソメイヨシノ	8位	シジュウカラ



● 「いきもの発見隊」を開催しました

いきもの発見隊は、身近な環境に生活する生き物たちを調べる区民参加型の調査です。平成24年度は、5月に目黒川船入場で、11月に駒場野公園で実施しました。

目黒川の水質は年々改善されており、現在は多くの種類の生き物が生息しています。駒場野公園では、「土をつくるいきものたち」をテーマに、たくさんの種類の生き物を発見しました。

参加者は、生き物スケッチや「いきものたちへのメッセージ」を描き、身近な自然を再発見している様子でした。



<いきもの発見隊の調査状況>

3 環境学習の推進

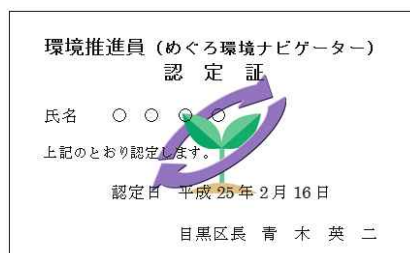
日常生活そのものに根ざす環境問題に対して、その身近な問題に向き合い、地域や家庭から積極的に行動を進めていくことのできる人材を育成することが重要です。

平成24年度は、人材の育成を目的として、5期目の環境推進員（環境ナビゲーター）養成講座を実施しました。これまで5期で修了生100人の方が、地域で活躍しています。

■ 環境推進員（環境ナビゲーター）養成講座（5期）を開催しました

環境問題に関心を持っている方を対象に、平成24年度は「やってみよう！スマートライフ」をテーマとし、講義やワークショップ、ディスカッションを取り入れた6回の連続講座を開催しました。

6回のうちワークショップを含む4回以上出席した12人を環境推進員（環境ナビゲーター）として認定し、認定証を交付しました。



<環境ナビゲーター認定証>

<環境推進員養成講座プログラム>

回	内容
第1回	講座の案内と講座テーマについての概論、環境に関するクイズ、参加者同士の交流
第2回	講義「目黒川のひみつ」 講師 元「川の資料館」解説員 新津紅氏
第3回	バスを使った施設見学 ①虹の下水道 ②プラスチック・缶の中間施設、びんリサイクルセンター
第4回	講義「エネルギーの地産地消」 講師 製品評価技術基盤機構理事長 国連大学名誉副学長 東京大学名誉教授 安井至氏
第5回 第6回	ワークショップ：グループ討議 ①水「蛇口の向こうを考える」 ②ごみ・資源「あなたはごみをどうする？」 ③小エネルギー「省エネも創エネも、小さなアイデアから」 講評 目黒区環境審議会会長 東京大学大学院准教授 梶田真氏



<講座の様子（第1回）>



<施設見学の様子（第3回）>

参加者の声（5期修了生）

- 施設見学は、目黒区の環境の取り組みがわかり良かった。
- エネルギーの座学で普段ニュースや新聞で知ることはあっても、実際に説明を聞いたことが無かったので、大変役に立ちました。
- 目黒川の講義で、身近なことなのに知らない事だらけだったので大変勉強になり、自分たちで何ができるか考えるきっかけとなった。

4 循環型社会の形成に向けて

環境負荷の少ない循環型社会の実現を目指すには、ものを大量に消費する社会を見直し、一人ひとりが「もったいない」という意識を当たり前を持つことが大切です。

平成24年度は、ごみの発生を抑制し、円滑な資源の循環を促進するために「発生抑制（リデュース）、再使用（リユース）、再生利用（リサイクル）」の普及啓発を実施しました。

■ ごみ減量と資源循環キャンペーンを実施しました

環境月間（6月）や3R推進月間（10月）で、資源とごみの分け方や出し方、ごみの発生抑制と減量化、分別の徹底、ごみの安全・適正な処理を推進するための普及啓発を行いました。また、古着を利用したリフォームファッションコンテストやお気に入りのイラストをバッグに描く、オンリーワンバッグのパネル展を行いました。

■ 普及啓発の充実を図りました

ごみ減量や円滑な資源循環を推進するためには、資源とごみの分別を徹底することや学校、幼稚園などに出張して行う環境学習が重要であると考えています。このため、分別方法の周知や環境学習の内容を再検討するとともに、パンフレット等の追加、見直しを行い、普及啓発の充実を図りました。



<「オンリーワンバッグ」コンテスト>

● へんしーん!! ペットボトルのリサイクル（児童用）

従来からの環境学習パンフレット（未就学児向け紙芝居、小学4年生向けパンフレット）に加え、新たに資源（ペットボトル）のリサイクルをテーマにした小学2年生向けパンフレットを作成し、環境学習の充実を図りました。



<「へんしーん!! ペットボトルのリサイクル」パンフレット>

● 「雑がみ²」回収袋

可燃ごみへの混入が多い「雑がみ」の分別を促進するため、「雑がみとは何か」をイラストで表した回収袋を作成し、普及啓発を図りました。

● 情報チラシの発行

身近なごみ減量の情報（生ごみ減量・雑がみ分別など）のチラシを作成し、町会回覧によって周知を図りました。

● ペーパークラフト 小型プレス車（未就学児用）

幼児期からごみ処理や資源回収への興味を持つ契機として、未就学児向けの環境学習に活用するペーパークラフトを作成しました。



<「雑がみ」回収袋>

² 雑がみ：紙箱、紙袋、包装紙、コピー用紙、パンフレット、カレンダー、封筒等。リサイクルされて再生紙に生まれ変わります。